菊口繁子、木下一郎、小林こずい、西城満期子、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木勝弘、関田成美、関向晶子、高貝しづ子、田村雪江、滝沢久嘉、寺井美和子、中山美穂、中村正、沼澤岩男、根岸年男、野岡由紀子、比嘉洋子、福田美枝子、星野辰子、増沢勝実、宮崎達夫、山崎美紀、吉田寛、若林紀美代

（富士見市教育委員会）飯田久子、上田寛、島田仁、鈴木美恵子、清水淳、関根輝子、高野ナミ、塚本政勝、中川和弘、成田淑美、羽田美代子、吉田信江、瀬戸加代子

〈整理作業参加者〉（敬称略）青山奈保美、石垣ゆき子、伊藤綾那、臼井孝、大久保明子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、寺井美和子、中田藤子、山口妙子

凡　例

1．本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

（1）縮尺は原則として

遺構配置図　1：300　　遺構平面図・遺物出土状況図　1：60、1：30　　炉などの詳細図　1：30

土器実測図　1：4　　土器拓影図　　1：4　　石器実測図　1：4、2：3　　銭　1：1

（2）遺構断面図の水糸高は海抜高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海抜高に同じ。

（3）遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示。

撹乱　　地山（ローム）　　焼土

土器　●　　石器　★　　黒曜石・チャート　▲　　礫　○

（4）土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。

（5）遺物実測図における screen-tone の指示。

塗彩　　煤　　煤（タール状）

（6）土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。

2．住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

3．本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会生涯学習課に保管してある。

埼玉県ふじみ野市「市内遺跡群 3」正誤表

以下のとおりの誤記がありました。お手数ですが訂正をお願いいたします。

	誤	正
iv頁　2段落 27 行目	Ⅱ　東中学校西遺跡	Ⅱ　東久保西遺跡
iv頁　2段落 28 行目	Ⅲ　東中学校西遺跡	Ⅲ　東久保西遺跡
1頁　2段落 18 行目	60,976 ㎡	59,934 ㎡
1頁　第 1 表 2006（平成 18）年度開発面積	60,976 ㎡	59,934 ㎡
3頁　第 2 表　合計	43,585 ㎡	59,934 ㎡
239 頁　1段落 5 行目	60,976 ㎡	59,934 ㎡

2頁　第 2 表

正

8	長宮遺跡 26 地点	中丸 2 丁目 5 番地 2	24	119	個人住宅建設	2007/3/28		縄文遺構遺物検出

誤

8	長宮遺跡 26 地点	中丸1丁目4番地8	24	1,161	個人住宅建設	2007/2/15～16		縄文遺構遺物検出

	遺跡･地点名	申請地住所	調査面積（㎡）	開発面積（㎡）	原　因	試掘期間	調査期間	備　考
39	神明後遺跡29地点	苗間神明後303-21,24	52	136	個人住宅建設	2006/5/8～11	2006/5/12～19	縄文遺物､古代～中世溝検出
40	神明後遺跡30地点	苗間神明後303-1	60	101	個人住宅建設	2006/5/8～19	2006/12/14～19	縄文遺物遺構/近世柱穴検出
41	浄禅寺跡遺跡26地点	苗間神明後354-23	112	112	個人住宅建設	試掘調査済み(2005.3)	2006/4/17～28	縄文遺構遺物検出
42	浄禅寺跡遺跡26地点	苗間神明後354-24	114	114	個人住宅建設	試掘調査済み(2005.3)	2006/6/7～15	縄文遺構遺物検出
43	浄禅寺跡遺跡28地点	苗間字東久保719-7,720-1	22	2,478	園舎改築工事	2007/1/23		溝検出
44	大井宿遺跡12地点	大井1丁目6-22	110	2,664	事務所兼店舗及び工場建設	2006/6/13～16		近世遺構検出
45	大井宿遺跡13地点	大井1-3-32	60	151	個人住宅建設	2006/8/21	2006/8/22～24	近世遺構遺物検出
46	大井宿遺跡14地点	大井1丁目2-19,2-20	112	944	コンテナボックス設置	2007/3/27～29		近世遺構検出
47	大井氏館跡遺跡21地点	大井1丁目7-15	22	174	個人住宅建設	2006/5/22		遺構遺物なし
48	本村遺跡117地点	大井2-11-4,6の一部	1,582	1,582	店舗建設	2006/3/22～4/14		中世遺構遺物検出
49	本村遺跡118地点	市沢2丁目12番13	80	257	個人住宅建設	2006/5/24～25	2006/5/25	縄文遺構検出
50	大井戸上遺跡5地点	大井字東台739番14	10	326	個人住宅建設	2006/7/10		遺構遺物なし
51	東台遺跡45地点	大井字東台710-1,711-1,717-1.2	7,971	17,391	小学校建設	2006/5/31～9/1	2006/9/8～2007/3/7	旧石器石器群､縄文遺構遺物検出
52	東台遺跡46地点	大井字東台626-11	80	100	宅地造成	2006/9/4～6	2006/9/15～28	縄文住居跡2軒検出
53	東台遺跡47地点	大井字東台602番4,602番5	80	320	個人住宅建設	2006/9/19～20		遺構遺物なし
54	東台遺跡48地点	大井字東台649-21	25	60	個人住宅建設	2007/1/16～26		縄文住居跡3軒検出
合計			21,727	43,585				

第3表　2006（平成18）年度立会い調査一覧表

	遺跡名	申請地住所	開発面積	原因	立会日	再開発時の対応	
1	北野遺跡	北野２丁目2119番2.4の各一部	217	鉄骨２階建て長屋建設	2007.1.24		
2	北野遺跡	北野２丁目2119番2.4の各一部. .3,5	221	専用住宅２階建て	2007.1.24		
3	北野遺跡	北野１丁目3115－８	51	専用住宅（木造３階建）建設	2007.2.7		遺構遺物なし
4		大井武蔵野1273－１	7,398	ターミナル倉庫	2006.9.20		
5	鶴ヶ岡外	亀久保字大野原1644－10	119	専用住宅（２階建て）	2006.9.14		
6		鶴ヶ岡２丁目27－４	1,145	共同住宅	2006.6.6		
7		大井武蔵野406－2,3	2,300	店舗	2006.10.25		
8		新田２丁目423－3,424－1,425の一部,428の一部	273	専用住宅（２階建て）建設	2006.4.19		盛土保存
9	西ノ原遺跡98地点	苗間１丁目13－13	206	個人住宅建設	2007.3.9		
10	北野遺跡	北野２－1788－１	158	専用木造住宅（３階建）建設２棟			盛土保存
合計			11,818				

第24章　東台遺跡の調査

Ⅰ　遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみの駅の南約１㎞、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は24～26ｍで砂川堀との比高差は約５ｍで急崖をなし、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

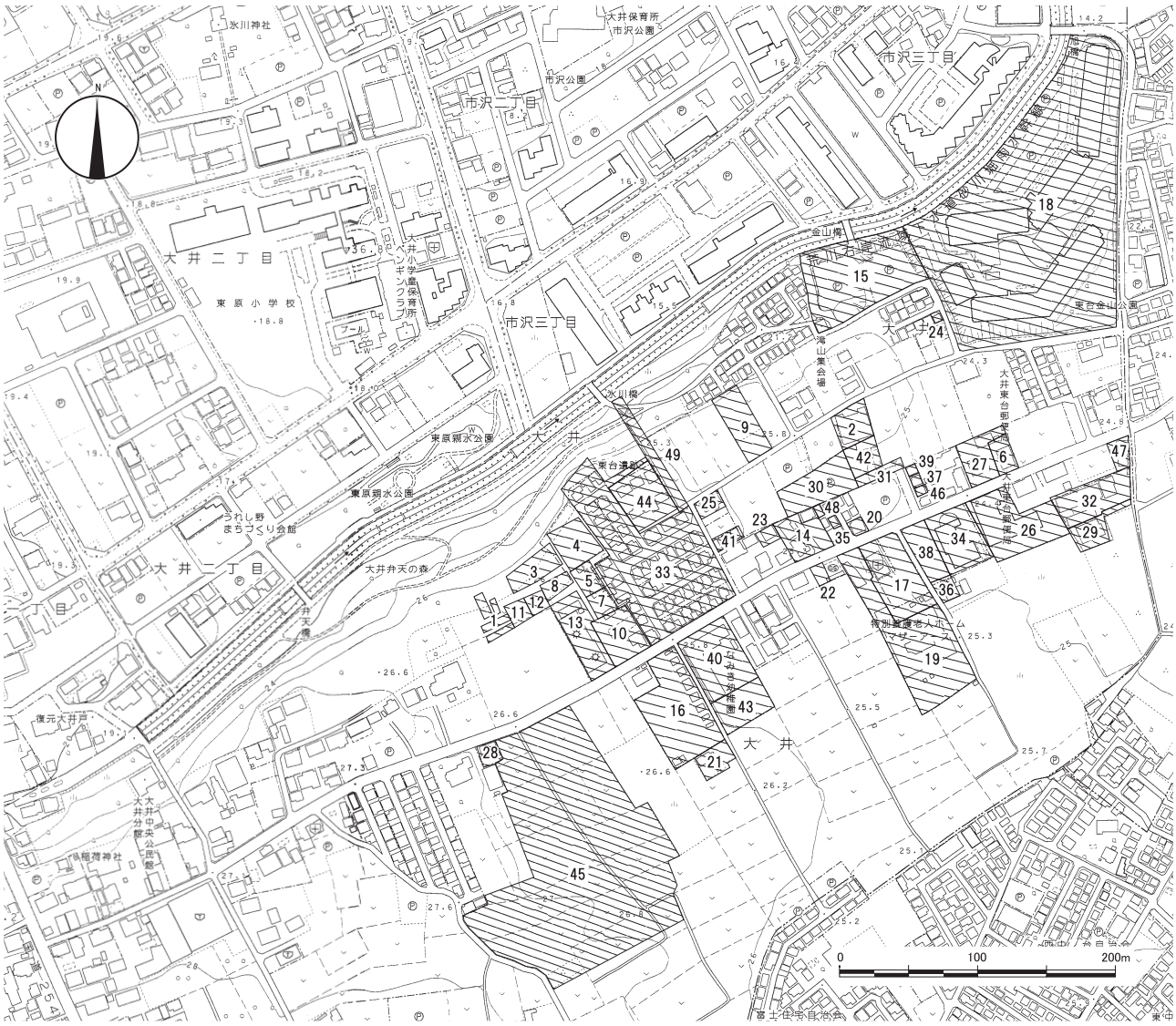
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西700ｍ、南北250ｍ、遺跡面積約170,000㎡、市内で最大規模の遺跡であり、約17％の30,000㎡を調査している。

旧石器時代の調査では、第18地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにⅥ・Ⅶ層～Ⅳ層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。

縄文時代の調査では早期１軒、後期６軒、中期144軒、不明20軒の住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている（2008年２月現在）。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第15・18地点で八世紀後半の製鉄炉や炭焼き窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約50ｍに大井戸上遺跡、西約300ｍに旧石器時代の西台遺跡が位置する。また砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡が位置する。今後旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡との関係が注目される。



第82図　東台遺跡の地形と調査区（１/4,000）

第39表　東台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (　)は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井東台	1981.		町史編纂事業	遺構無し、縄文中期土器	
2	大井東台640-7	1981.12.14～ 1982.2.13	667	宅地造成	縄文中期住居12、旧石器時代石器	東部遺跡群Ⅲ
3	大井東台672	1982.5.19～6.15	666	宅地造成	炉穴7、土坑2、柱穴群	東部遺跡群Ⅳ
4	大井東台671	1982.6.17～11.18	587	農地転用	縄文中期住居3、後期住居1、旧石器ユニット、集石4、土坑14、溝	東部遺跡群Ⅳ
5	大井東台	1983.7.25～8.9	195	町史編纂事業	縄文中期住居2、土坑1	東台遺跡
6	大井東台	1984.1.9～1.12		宅地造成	縄文中期住居1	
7	大井東台670-2	1984.5.15～6.13		共同住宅	縄文中期住居4、後期住居1	
8	大井東台672	1984.8.18～9.21	345	町史編纂事業	縄文中期住居1、炉穴2、土坑14	東台遺跡Ⅱ
9	大井東台	1984.10.25～ 1985.2.15	1,000	駐車場造成	縄文中期住居22、後期住居1、炉穴、ピット群、旧石器礫群	大井町史資料Ⅰ
10	大井東台670-1	1985.10.1～11.25	896	住宅建設	縄文中期住居5、土坑5	東部遺跡群Ⅵ
11	大井東台673	1986.1.14～3.20	660	宅地造成	縄文中期住居2、集石土坑3、土坑1、ピット	東部遺跡群Ⅵ
12	大井東台673	1987.5.6～6.26	330	転地返し	縄文早期住居1、土坑18、平安時代住居2、溝1	東部遺跡群Ⅶ
13	大井東台670-6	1988.1.14～2.27	971	倉庫建設	縄文中期住居9、集石1、土坑9、ピット20	東部遺跡群Ⅷ
14	大井東台649-16　他	1988.1.27～2.24	735	住宅建設	縄文中期住居12、屋外埋甕1、集石土坑1、土坑8、ピット38	東部遺跡群Ⅸ
15	大井市沢577-1　他	(1989.10.17～11.10) 1989.11.17～1990.8.1	700	住宅建設	落し穴1、木炭窯1、粘土採掘抗2、奈良･平安土器	東部遺跡群Ⅹ
16	大井713-4･5	(1990.8.1～8.4)	3,048	資材置場設置	縄文中期住居1、土坑1	東部遺跡群ⅩⅠ
17	大井621-1	(1990.9.5～9.12) 1990.10.9～12.27	1,470	診療所建設	縄文中期住居8、土坑30、ピット94、柵列	東部遺跡群ⅩⅠ
18	大井529-1,588	(1991.3.11～5.20) 1992.2.24～1994.7.5	20,000	共同住宅	旧石器礫群、石器集中17、落し穴1、竪形製鉄炉7、木炭窯9、採掘坑4、土坑9、溝、柵列、道路跡、平安土器	東台製鉄遺跡
19	大井621	(1992.5.31～6.7)	4,489	特養新設	縄文中期住居8	町内遺跡群Ⅰ
20	大井649-27	1992.1.30	5	個人住宅	縄文中期住居1	町内遺跡群Ⅲ
21	大井713-11･12	1992.3.7～3.11	299	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅲ
22	大井651-6	(1994.5.10～5.11) 1994.5.30～7.30	146	店舗建設	縄文中期住居6、土坑1	調査会報告13集
23	大井649-12･13	(1995.6.23～6.27)	285	個人住宅	縄文中期住居2	町内遺跡群Ⅳ
24	大井634-20	(1995.7.6)	58	個人住宅	縄文時代集石、土坑	町内遺跡群Ⅳ
25	大井648-13･14	1995.10.22～12.16	296	個人住宅	縄文中期住居5、後期住居1、袋状土坑1、土坑10、ピット6	町内遺跡群Ⅳ
26	大井東台601-1･4･5	(1996.11.6～11.18) 1997.1.14～3.18	2,248	共同住宅	縄文中期住居1、土坑3、落し穴1、ピット24	調査会報告13集
27	大井600-1	(1997.2.19) 1997.2.19～3.14	965	個人住宅	縄文中期住居1、炉穴1、土坑1、落し穴1、ピット44	町内遺跡群Ⅵ
28	大井東台710-4	(1997.3.17～3.19)	231	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅵ
29	大井東台606-3	(1998.2.27～3.3) 1998.3.4～3.5	500	個人住宅	縄文早期炉穴9、ピット2	町内遺跡群Ⅶ
30	大井640-1	(1998.11.4～11.12)	1,330	駐車場	縄文中期住居1、屋外炉、ピット	町内遺跡群Ⅷ
31	大井630-3,640-8	(1999.5.7～5.21)	186	道路築造	縄文中期住居2	町内遺跡群Ⅸ
32	大井603-1	(2000.8.4～8.9)	92	製茶工場	ピット3	町内遺跡群Ⅹ
33	大井662-1	(2000.8.4～8.8) 2000.8.10～2001.1.25	7,076	分譲住宅	石器群4、礫群4、縄文中期住居30、後期住居4、掘立柱建物跡1、炉穴14、集石土坑4、他	町内遺跡群Ⅹ
34	大井東台624-2	(2002.3.12～3.25) 2002.3.26～5.8	1,414	共同住宅	縄文中期住居5、土坑11、ピット16	町内遺跡群ⅩⅠ
35	大井東台649-31	(2001.9.6～9.8)	48	個人住宅	縄文中期住居1	町内遺跡群ⅩⅠ
36	大井東台614	(2001.10.15～11.2)	272	倉庫建設	ピット5、土器片	町内遺跡群ⅩⅠ
37	大井東台626-12	2001.10.12～11.5	100	個人住宅	縄文中期住居2、ピット1	町内遺跡群ⅩⅠ
38	大井東台614-3	(2002.1.28～2.15)	787	駐車場	縄文中期住居1、竪穴状遺構1、集石土坑2、土坑2、ピット2	町内遺跡群ⅩⅠ
39	大井626-8	(2002.6.3～6.20)	100	個人住宅	ピット3、縄文土器片、石屑	町内遺跡群ⅩⅡ
40	大井661	(2003.10.6～11.4)	1,875	幼稚園	土坑6、ピット10、柵列	町内遺跡群ⅩⅡ
41	大井東台648-4	(2004.5.11～5.14)	182	個人住宅	縄文中期住居3、集石1、土坑1、屋外ピット1	町内遺跡群ⅩⅡ
42	大井640-4	(2004.9.7～9.17)	515	教会建築	縄文中期住居2、落し穴1、土坑3、ピット20	町内遺跡群ⅩⅡ
43	大井東台661-6	(2005.1.13)	964	駐車場	ピット4	町内遺跡群ⅩⅡ
44	大井東台664-15	2005.12.8～12.28	200	個人住宅	縄文中期住居1、後期住居2、土坑5、ピット9	市内遺跡群2
45	大井字東台710-1,711-1,717-1.2	(2006.5.31～9.1) 2006.9.8～2007.3.7	7,971	小学校建設	縄文中期住居1、後期住居2、土坑5、ピット10	市内遺跡群3
46	大井字東台626-11	(2006.9.4～6) 2006.9.15～28	100	個人住宅	縄文中期住居2、集石2、土坑1、	市内遺跡群3
47	大井字東台602番4,602番5	(2006.9.19～20)	320	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群3
48	大井字東台649-21	(2007.1.16～26)	60	個人住宅	縄文中期住居3	市内遺跡群3

第40表　東台遺跡住居跡一覧表

（単位cm）

住居番号	調査率	平面形（　）は推定	規模	炉			埋甕	拡張	壁溝	備考	時期	文献
				地床	埋設	石囲						
1	80%	(円形)	(550×？)			○		有	○	曾利系多い	EⅠ新	東Ⅲ
2	完掘	(円形)	(400)	○						床まで削平	EⅠ古	東Ⅲ
3	80%	隅丸方形	(？×510)	○	○	○			○	大木系有り	EⅠ新古相	東Ⅲ
4	完掘	隅丸方形	700×750	②					○	拡張	EⅡ	東Ⅲ
5	完掘	円形	460×470	○					○	床まで削平	EⅡ	東Ⅲ
6	完掘	円形	420×430	○						床削平	EⅡ	東Ⅲ
7	完掘	円形	510×525×25	②					○	曾利・連弧多い	EⅡ古	東Ⅲ
8	完掘	隅丸方形	530×(465)25	○				有	○	7号に切られる	EⅠ新	東Ⅲ
9	50%	円形	約500	○						床削られる	EⅡ	東Ⅲ
10	完掘	円形	410×400		○					撹乱	EⅠ新	東Ⅲ
11	完掘	円形	410×420	○							EⅡ	東Ⅲ
12	20%	円形									EⅡ	東Ⅲ
13	完掘	円形	300×270	○							EⅢ	資
14	完掘	円形張出	430×418	○			○		○		EⅠ新	資
15	完掘	円形	514×520			○				連弧文多い	EⅡ古	資
16	完掘	長円形	525×424		○					15号を切り、17号に切られる	EⅡ	資
17	完掘	長円形・円形	478×422		○		○	有		曾利系多い	EⅡ新	資
18	90%	円形	523	②				有		19号を切る	EⅠ新	資
19	完掘	隅丸台	517	○	○			有		曾利系多い	EⅠ古	資
20	完掘	長円形	658×583	○		○				21号を切る	EⅠ中	資
21	完掘	隅丸台形	482×462			○					EⅠ新	資
22	55%	円形？	切×292	○	○		○	有	○	23号を切る	EⅡ	資
23	80%	長円形	622×約470	○				有	○	曾利系多い	勝Ⅲ末	資
24		長円形	東は区域外		○						EⅡ新	資
25	完掘	長円形？	西南撹乱		○		○			24号に切られる	EⅡ	資
26											勝	資
27		長円形	部分発掘								時期不明	資
28	完掘	長円形	473×450		○	○					EⅡ新	資
29	完掘	？	切×563	○	②		○	有		28号に切られる	EⅠ新	資
30	完掘	長円形？	切×532		○				○	31号に切られる	EⅡ	資
31	完掘	長円形	618×472	○	○				○	曾利系多い	勝Ⅲ新	資
32	完掘	長円形	573×525	○						34号と複合	EⅡ	資
33	完掘	柄鏡形	？×520	○			③		○	32号に切られる	称古	資
34	完掘	隅丸方形	720×628		○				○	32号と複合	EⅠ	資
35	90%	長円形	510×540	○	○	○	○				EⅡ古	資
36	35%	円形	西半部不明	○		○	○			柄鏡形？	EⅣ	資
37	完掘	長円形	530×420×15		○	○	○	有		入口部に段	勝Ⅱ古	東Ⅸ
38	40%	隅丸方形	南半部未掘			○			○	39号を切る	EⅠ新	東Ⅸ
39	15%	隅丸方形	大部分未掘		不明						EⅡ	東Ⅸ
40	35%	隅丸方形	南半部未掘	○					○		EⅠ新	東Ⅸ
41	完掘	楕円形	480×390×20	○						44号に切られる	勝Ⅲ新	東Ⅸ
42	45%	不明	南部・東部未掘	○							EⅠ新	東Ⅸ
43	60%	長円形	650×600×60	②				有			EⅡ	東Ⅸ
44	完掘	隅丸方形	550×(500)×20	○		○		有	○	41・47号を切る	EⅠ新	東Ⅸ
45	完掘	長楕円形	740×600×25	③		○		3回以上拡張		44号と接する	EⅡ	東Ⅸ
46	完掘	楕円形	400×380×10	○						45号に切られる	E	東Ⅸ
47	30%	円形	300×未掘×25							44号に切られる	阿Ⅱ	東Ⅸ
48	20%	隅丸方形	南大部分未掘						○		EⅠ新	東Ⅸ
49	完掘	円形	560×550×30		○	○					EⅡ	東ⅩⅠ
50	完掘	長円形	420×380×30								阿Ⅱ	東ⅩⅠ
51	完掘	円形	330×310×30							柱穴無し	阿Ⅱ	東ⅩⅠ
52	完掘	円形	495×490×50	○	○			有			勝Ⅱ	東ⅩⅠ
53	完掘	円形	340×310×30	○						8号土坑で壊れる	勝Ⅱ	東ⅩⅠ
54	40%	円形	？×460×65	○	○		○	有	○		EⅠ古	東ⅩⅠ
55	70%	(円形)	半掘550	○	○			有			阿Ⅱ	東ⅩⅠ
56	60%	(円形)	(480)×半掘	○	○						EⅢ	東ⅩⅠ
57	完掘	円形	600×600	○	○		②				EⅡ	
58	完掘	楕円形	520×420		○				○		勝Ⅲ末	
59	50	(楕円形)	560×半掘								EⅠ新	
60	完掘	円形	520×510		○		○	有			EⅠ新	
61	50	(円形)	1/2調査								EⅡ	
62	25	(楕円形)	1/4調査		○					北大部分未発掘	EⅠ古	
63	45		一部調査		未掘		②	有	○		EⅠ古	
64	70	(楕円形)	453×(408)×22			○				65・67住と複合	EⅢ	調13集
65	55	(楕円形)	502×不明×22	○				有	○	64住と複合、東半未発掘	EⅠ古	調13集
66	完掘	(楕円形)	(668×560)×48			○	○		△		EⅠ新古相	調13集
67	完掘	隅丸方形	667×590×72		○			有	○	拡張、64住と複合	EⅠ古	調13集
68	20	(楕円形)	(480)×不明×47		未掘					北大部分未発掘	不明	調13集
69	75	(楕円形)	(580)×不明×50			○		有	○	拡張、南部分未発掘	EⅡ	調13集
70	90	円形	570×(510)×30	○			○	有			EⅡ中相	町Ⅳ
71	完掘	(楕円形)	440×410×16		○			有			勝Ⅱ新	町Ⅳ
72	15	隅丸(長)方形	(480)×？		未掘				○	西大部分未発掘	EⅠ新	町Ⅳ
73	完掘	楕円形	606×550×30	○			②	有		伏甕有り、75住と重なる	EⅡ中相	町Ⅳ
74	完掘	楕円形	612×514×40		○			有			勝Ⅲ古相	町Ⅳ
75	70	柄鏡形	(590)×？				○			73住・8号土坑と重なる	堀	町Ⅳ
76	完掘	楕円形	391×366	○		○					EⅡ新	調13集
77	完掘	隅丸六角形	595×480×24	○			○				EⅡ	町Ⅵ
78	40	不明	不明	○		○				床まで削平	EⅡ新相	町Ⅷ
79	40	不明	不明		未掘						不明	町Ⅸ
80	20	不明	不明		未掘						不明	町Ⅸ
81	40	不明	不明	○							不明	町ⅩⅠ
82	65	(円形)	(546)×？		○			有	○	異系統土器多し	EⅠ新古相	町ⅩⅠ
83	30	(楕円形)	410×310×35		○					覆土内に土坑	勝Ⅱ	町ⅩⅠ・市3
84	30	(楕円形)	不明(南大部分未掘)	○						撹乱で炉のみ検出	不明	町ⅩⅠ
85	完掘	楕円形	530×476	○							不明	調17集
86	完掘	円形	464×492	○	○					曾利多し	EⅡ古	調17集
87	完掘	柄鏡形	415×552		○		②				EⅡ新・EⅣ	調17集
88	完掘	不明	(465×380)		○		○			床削平	EⅢ	調17集
89	完掘	不明	(335×315)		○					削平	阿Ⅱ古	調17集
90	30	不明	(190×60×10)		未掘							町ⅩⅡ
91	25	(円形)	(200×170)	○					○	床面まで削平され、92住に切られる		町ⅩⅡ
92	25	(円形)	(330×260×20)	○					○		勝末	町ⅩⅡ
93		不明	(700)	○					○	床面まで削平される		町ⅩⅡ
94	33	隅丸方形	(370×180×10)									町ⅩⅡ
95	50	(円形)	(504×423)							96・97住と複合		市2
96		円形	(560×555)							95・97住と複合		市2
97		不明	不明							95・96住と複合		市2
98	57	(隅丸方形)	(？×610)×35		○		△	有	○	覆土内に集石	EⅡ新	市3
99	10	(楕円形)	(？)×18		未掘				○	170住より新、100住より古	EⅡ	市3
100	25	(楕円形)	(？)×12		未掘					99・170住を埋める	EⅡ	市3
101	完掘	円形	695×600		○						EⅠ新	東Ⅳ
102	完掘	円形	480×460	○							堀Ⅰ	東Ⅳ
103	完掘	隅丸台形	700×615	②						有孔鍔付土器多い	EⅠ新	東Ⅳ
104	50	円形	500×500		○						EⅠ新古相	東Ⅳ
105	完掘	楕円形	460×430		○		○			曾利系多い	EⅠ新	史30集
106	完掘	円形	450×410			○					EⅡ古	史30集
107	完掘	楕円形	380×390	②							EⅠ新	資
108	完掘	長円形	395×325	○							EⅣ	資
109		楕円形										
110	完掘	円形	406×406	○						北関東系有り	EⅠ新	資
111	完掘	隅丸長方形	486×437	②			○				EⅠ新	資
112	完掘	円形	約420×408	○							EⅡ	資
113	完掘	隅丸台形	450×460		○	○	○			曾利系多い	EⅠ新	東台Ⅱ
114	完掘	長円形	510×450		○						勝末	東Ⅵ
115	完掘	長円形	545×495	○							勝末～EⅠ	東Ⅵ
116	完掘	長円形	575×520	○							EⅠ末	東Ⅵ
117	完掘	柄鏡形？	(640)×590		○			有	○	入口有り	EⅣ	東Ⅵ
118	80	隅丸方形	450×410～420	○			○	有	○		EⅠ	東Ⅵ・Ⅷ
119	完掘	円形	770×750	120号住居と重複							EⅡ	東Ⅵ・Ⅶ
120	完掘	柄鏡形	390×(750)	土器・石囲炉			②	有	○	礫敷、埋設3	EⅣ	東Ⅵ・Ⅶ
121	完掘	長方形	530×430					有	○	北カマド・東カマド	平安	東Ⅶ
122	完掘	方形	400×370						○	東カマド、墨書土器　銘「資成」	平安	東Ⅶ
123	完掘	円形	365×350					有			茅山下	東Ⅶ
124	完掘	正円形	465×455×7	○							EⅡ	東Ⅷ
125	完掘	楕円形	420×370		○						阿Ⅱ	東Ⅷ
126	完掘	楕円形	465×420			○			○		EⅠ新	東Ⅷ
127	完掘	長楕円形	565×485×10	②				有	○		EⅠ新	東Ⅷ
128	完掘	隅丸方形	510×480	○	○	○		有	○	129住に切られる	EⅠ新	東Ⅷ
129	完掘	隅丸方形	560×530	○					○	128住を切る	EⅡ	東Ⅷ
130	70	楕円形	540×510×20	○				有	○		EⅠ新	東Ⅷ
131	完掘	不整円形	600×580			○					EⅠ	東Ⅷ
132	完掘	隅丸方形	494×(480)	○				有	○	複合著しい	EⅠ新	町Ⅹ
133	完掘	隅丸方形	580×520	○				有	○	円盤、耳栓	EⅠ新中相	町Ⅹ
134	70	隅丸方形	(434×344)		○			有	○		EⅠ古	町Ⅹ
135	完掘	長円形	532×452	○							EⅡ	町Ⅹ
136	完掘	楕円形	460×396			○		有	○		EⅠ新	町Ⅹ
137	完掘	不整形	(836×820)	○				有			称古	町Ⅹ
138	完掘	不明	470×490	○	○			有		139住と複合	勝Ⅱ新	町Ⅹ
139	完掘	柄鏡形	556×566	○			○			138住と複合、土製品	EⅣ	町Ⅹ
140	完掘	隅丸方形	372×340		○				○		勝Ⅲ末	町Ⅹ
141	完掘	(楕円形)	(536×512)	○	○					西部155住と複合	狢沢	町Ⅹ
142	完掘	楕円形	414×396		○	○					E最古	町Ⅹ
143	完掘	楕円形	446×340		○	○		有	○		EⅠ	町Ⅹ
144	完掘	隅丸方形	520×556	○	○	○		2回有	○	複合か	EⅠ新古相	町Ⅹ
145	完掘	楕円形	536×448		○			2回有	○	炉内(北関東加曽)	EⅠ新古相	町Ⅹ
146	完掘	(隅丸方形)	(526×454)	○				有			EⅠ新中相	町Ⅹ
147	95	楕円形	564×560		②	○		3回有	○		EⅠ新古相	町Ⅹ
148	35	不明	436×？		未掘			有	○		EⅠ新中相	町Ⅹ
149	完掘	楕円形	388×410			○					EⅡ	町Ⅹ
150	65	(楕円形)	532×？	○				有	○	151住と複合、連弧文・条線多い	EⅡ新相	町Ⅹ
151	40	(隅丸方形)	(608×？)		○	○		有	○	150住と複合	EⅠ新新相	町Ⅹ
152	完掘	(楕円形)	556×500	○	②	○		有	○	炉内土器	E最古	町Ⅹ
153	完掘	(楕円形)	(616×544)		②			有			勝Ⅲ	町Ⅹ
154	60	(隅丸方形)	(364×544)	○				有			EⅡ古相	町Ⅹ
155	完掘	柄鏡形	670×708	○			○	有		141住と複合、蓋形土器・ミニ	称古	町Ⅹ
156	完掘	楕円形	366×304					有			EⅠ新	町Ⅹ
157	完掘	楕円形	530×526	○			○	有	○		EⅠ新新相	町Ⅹ
158	完掘	楕円形	372×438	○	○			有			EⅠ新中相	町Ⅹ
159	完掘	(柄鏡形？)	(686×530)								称？	町Ⅹ
160	完掘	(楕円形)	(488×484)								勝Ⅱ新	町Ⅹ
161	完掘	隅丸方形	504×514	②				有	○	床直ミニチュア土器2個	EⅠ新・曽Ⅱ	町Ⅹ
162	完掘	楕円形	不明	○			○伏			削平	EⅣ・曽Ⅲ	町Ⅹ
163	30	(隅丸方形)	(216)×288								EⅡ	町Ⅹ
164	60	(円形)	(566×416)	○							EⅡ新相	町Ⅹ
165	40	不明	(350×496)	○							堀	町Ⅹ
166	完掘	不明	(300？×250？)	○							不明	
167	70	不明	(400？×？)	○							不明	
168	完掘	不明	(300？×300？)	○							不明	
169	完掘	不明	(270？×270？)	○							不明	
170	10	不明	(？)×18								不明	市3
171			不明							部分発掘・保存		
172			不明							部分発掘・保存		
173			不明							未調査・保存		
174			不明							未調査・保存		
175			不明							未調査・保存		

東＝東部遺跡群、資＝町史資料編、調＝遺跡調査会報告、町＝町内遺跡群、市＝市内遺跡群



第83図　東台遺跡遺構分布図（1/2,000）

Ⅳ　東台遺跡第47地点

（１）調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2006年８月11日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡東端に立地しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2006年９月19日から同年９月20日まで行った。２ｍ幅のトレンチを３ヵ所設定し、重機で表土除去後、人力で表面精査を行なった。調査の結果、全域で深く耕作されロームを含む黒褐色土が厚く堆積しており、遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事の措置とした。確認面まで70～120㎝を測る。

写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。

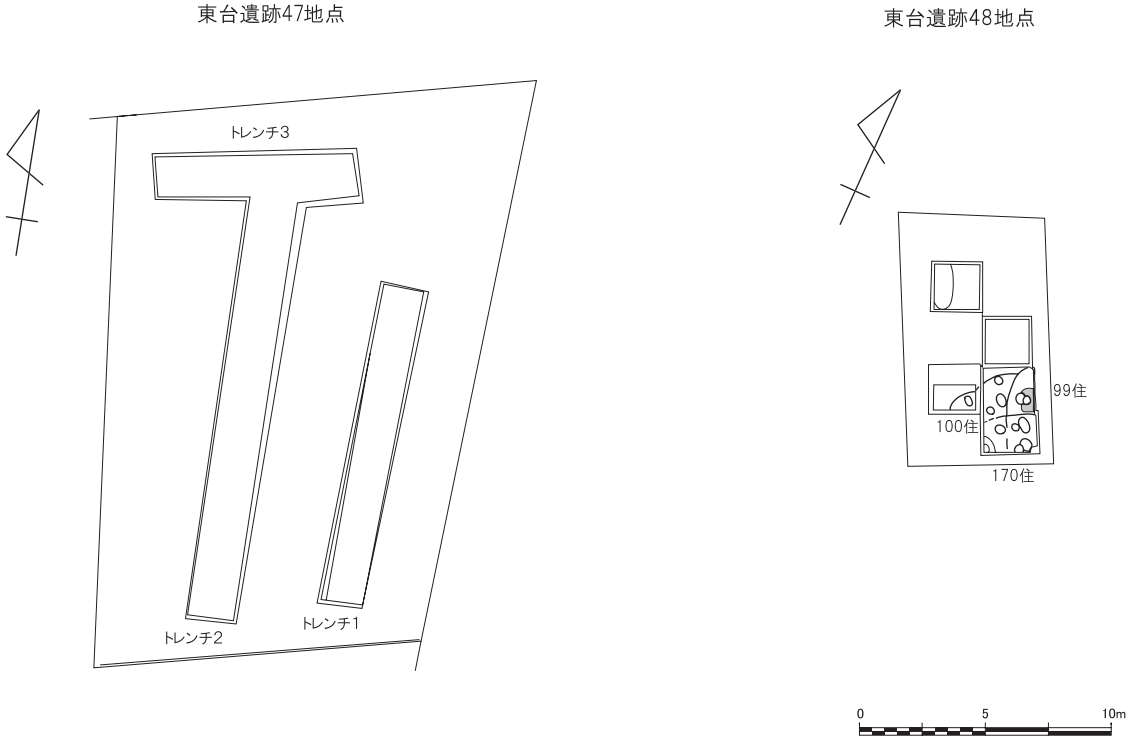
Ⅴ　東台遺跡第48地点

（１）調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2007年１月16日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、隣接地で縄文時代の住居跡を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2007年１月16日から同年１月26日まで行った。２×２ｍのグリッドを４ヵ所設定し、人力で表土除去し表面精査を行なった結果、暗褐色土プランを検出した。遺構の性格を確認するためさらに表土除去し精査したところ、住居跡、土坑等であった。確認面まで70～80㎝を測り、30cmの保護層が確保できるため工事立ち会いの措置をとった。

検出した遺構の写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。



第86図　東台遺跡第47地点・48地点遺構配置図（１/300）

（２）遺構と遺物

①99号住居跡

【位置】調査区の南東隅に位置する。東台遺跡縄文集落内では東側環状集落の内側にあたり、40～48号住居跡等住居密集部分と連続する。

【形状】住居跡の北西部分を検出した。平面形態は円形か楕円形を呈する。確認面から床面の深さは18㎝、現況面からは100㎝を測る。170号住居跡を埋めて床面とし、100号住居跡により埋められる。

壁は緩やかに立ち上がる。床面はほぼ平坦である。

第41表　東台遺跡99号住居跡ピット一覧表　（単位㎝）

	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P１	円形	54×44	15×10	39	
P４	円形	36×32	12× 8	60	
P６	円形	36×30	16×16	32	
P７	円形	25×32	10× 7	26	

【時期】加曾利ＥⅡ式期。

②100号住居跡

【位置】調査区の南東隅に位置する。東台遺跡縄文集落内では東側環状集落の内側にあたり、40～48号住居跡等住居密集部分と連続する。

【形状】住居跡の北側部分を検出した。平面形態は円形か楕円形を呈する。確認面から床面の深さは12㎝、現況面からは90㎝を測る。99号・170号住居跡を埋めて床面とし、最も新しい。

壁は緩やかに立ち上がる。床面はほぼ平坦である。

第42表　東台遺跡100号住居跡ピット一覧表　（単位㎝）

	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P５	円形	28×26	10× 5	24	旧99住Ｐ５
P９	円形	30×28	16×16	47	
P10	長方形	38×24	10× 6	41	
P11	円形	48×40	7 × 6	34	
P12	円形	34×30	20×16	52	

【周溝】99号住居跡を埋めて床面とした部分で検出した。幅20㎝、深さ５㎝。

【時期】加曾利ＥⅡ式期。

③170号住居跡

【位置】調査区の南東隅に位置する。東台遺跡縄文集落内では東側環状集落の内側にあたり、40～48号住居跡等住居密集部分と連続する。

【形状】住居跡の北側部分を検出した。平面形態は円形か楕円形を呈する。確認面から床面の深さは18㎝、現況面からは100㎝を測る。99号・100号住居跡によって埋められ、最も古い。

壁は緩やかに立ち上がる。床面はほぼ平坦である。

第43表　東台遺跡170号住居跡ピット一覧表　（単位㎝）

	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P２	円形	32×30	21×16	39	
P３	円形	45×42	16×12	78	
P８	円形	32×30	17×16	24	
P13	－	(56)×(44)	12× 6	27	

【時期】不明。

④99号住居跡出土遺物（第88図上１～16）

１と２は深鉢の口縁部文様帯部分で区画文・渦巻文を基調とし、地文縄文であり加曽利ＥⅡ式である。３は沈線２本をめぐらしたのみで、地文縄文を角丸長方形に沈線で区画し、その周囲を磨消す。加曽利ＥⅢ式であろう。４と５は口縁下に２列の列点文をめぐらす地文縄文のもので加曽利ＥⅡ式といえる。６と７は半裁管状工具による沈線の地文のみで上記と併行する非在地系の土器。８は２の退化形で、９と10は地文縄文に磨消懸垂文をもつ加曽利ＥⅡ式の典型。11は地文縄文のみのもの。12は沈線と沈線列のみ。13と14は沈線列の地文に貼付隆帯に刻目を加える。15と16は無文口縁と底部で11～15も加曽利ＥⅡ式と併行期。

⑤100号住居跡出土遺物（第88図中１～３）

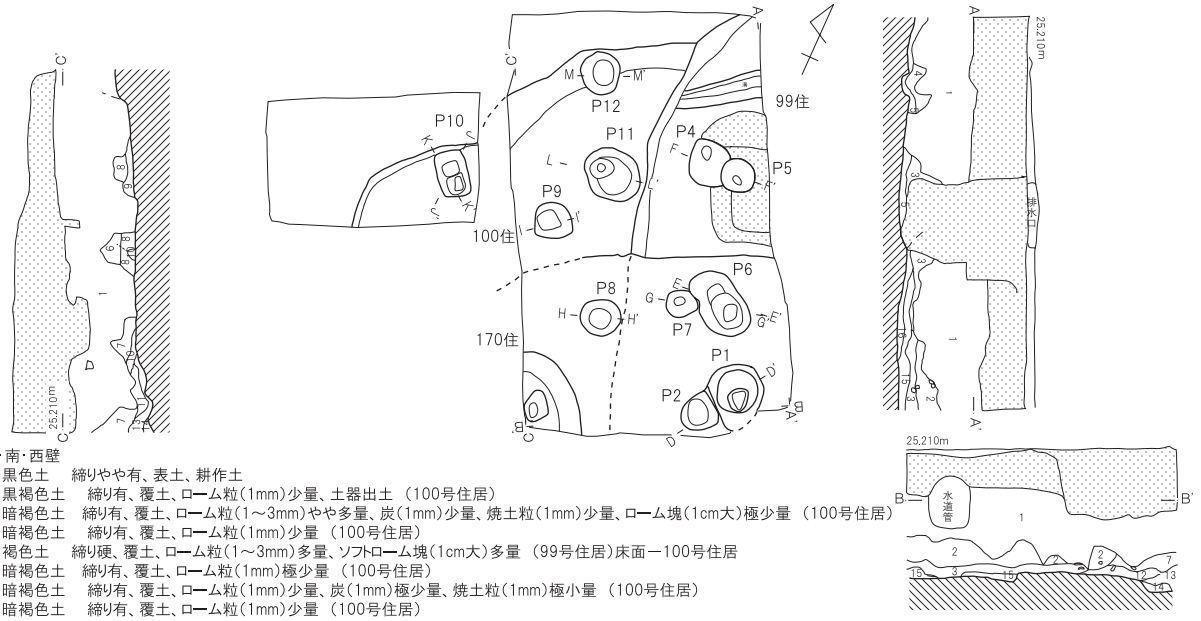
１～３は文様・胎土・焼成から同一個体としてよいもので、ラフなRL縄文を地文とし、２本の沈線間を磨消した直下懸垂文をもつ。加曽利ＥⅡ式新相。

⑥170号住居跡出土遺物（第88図中右）

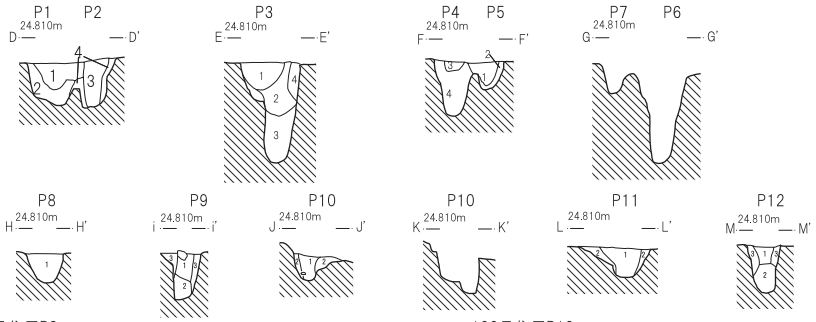
１は無文の深鉢片。加曽利ＥⅡ式の可能性が高い。

⑦遺構外の出土遺物（第88図下１～12）

１は無文、２は列点文をめぐらす地文縄文の類。３は地文縄文に沈線で蛇行懸垂文を入れる。４～８は地文縄文に磨消懸垂文を入れる。９は地文縄文のみの部分の胴部片。10は沈線列を地文とし、沈線の懸垂文をもつ。11は地文条線のみの胴部片。12は無文の浅鉢で、表面のヘラ磨きが著しい。１～11は加曽利ＥⅡ式であり、12もこの期のものであろう。



東・南・西壁
1. 黒色土　締りやや有、表土、耕作土
2. 黒褐色土　締り有、覆土、ローム粒(1mm)少量、土器出土 (100号住居)
3. 暗褐色土　締り有、覆土、ローム粒(1～3mm)やや多量、炭(1mm)少量、焼土粒(1mm)少量、ローム塊(1cm大)極少量 (100号住居)
4. 暗褐色土　締り有、覆土、ローム粒(1mm)少量 (100号住居)
5. 褐色土　締り硬、覆土、ローム粒(1～3mm)多量、ソフトローム塊(1cm大)多量 (99号住居)床面－100号住居
6. 暗褐色土　締り有、覆土、ローム粒(1mm)極少量 (100号住居)
7. 暗褐色土　締り有、覆土、ローム粒(1mm)少量、炭(1mm)極少量、焼土粒(1mm)極小量 (100号住居)
8. 暗褐色土　締り有、覆土、ローム粒(1mm)少量 (100号住居)
9. 褐色土　締り有、覆土、ローム粒(1mm)多量 (100号住居)
10. 褐色土　締り有、覆土、ローム塊多量 (100号住居床面)
11. 暗褐色土　締り有、覆土、ローム粒(1～3mm)やや多量、炭(1～3mm)少量 (170号住居)
12. 褐色土　締り硬、覆土、ローム粒(1～3mm)多量、ローム塊(1cm大)少量 (170号住居)
13. 褐色土　締り硬、覆土、ローム粒(1～3mm)多量、ローム塊(1cm大)多量 (170号住居)
14. 黄褐色土　締り硬、覆土、ローム塊主体 (170号住居)
15. 褐色土　締り硬、覆土、ローム粒(1～3mm)多量、焼土粒(1～3mm)少量 (99号住居)床面－100号住居
16. 褐色土　締り硬、覆土、ローム塊(1cm大)多量 (99号住居)



99号住居P1・2
1. 暗褐色土　締り有、ローム粒(1mm)少量
2. 褐色土　締り有、ローム粒(1～3mm)少量、ソフトローム塊(2cm大)少量
3. 暗褐色土　締り有、ローム粒(1～3mm)やや多量、焼土粒(1mm)少量、炭(1mm)少量
4. 暗褐色土　締り有、ローム粒(2～5mm)極多量、ローム塊(1～3mm)

99号住居P3
1. 暗褐色土　締り有、硬い、ローム粒(1mm)少量、焼土粒・炭極小量
2. 暗褐色土　締り有、ローム粒(1～3mm)多量
3. 暗褐色土　締りやや有、ローム粒(1～3mm)極多量
4. 暗褐色土　締り有、硬い、ローム粒(2～5mm)極多量、ローム塊(1cm大)少量

99号住居P4・5
1. 褐色土　締り有、硬い、ローム粒(1～3mm)少量、ソフトローム塊(2cm大)少量
2. 褐色土　締り有、硬い、ソフトローム塊少量
3. 暗褐色土　締り有、ローム粒(1～3mm)少量
4. 褐色土　締り有、ローム粒(2～5mm)極多量

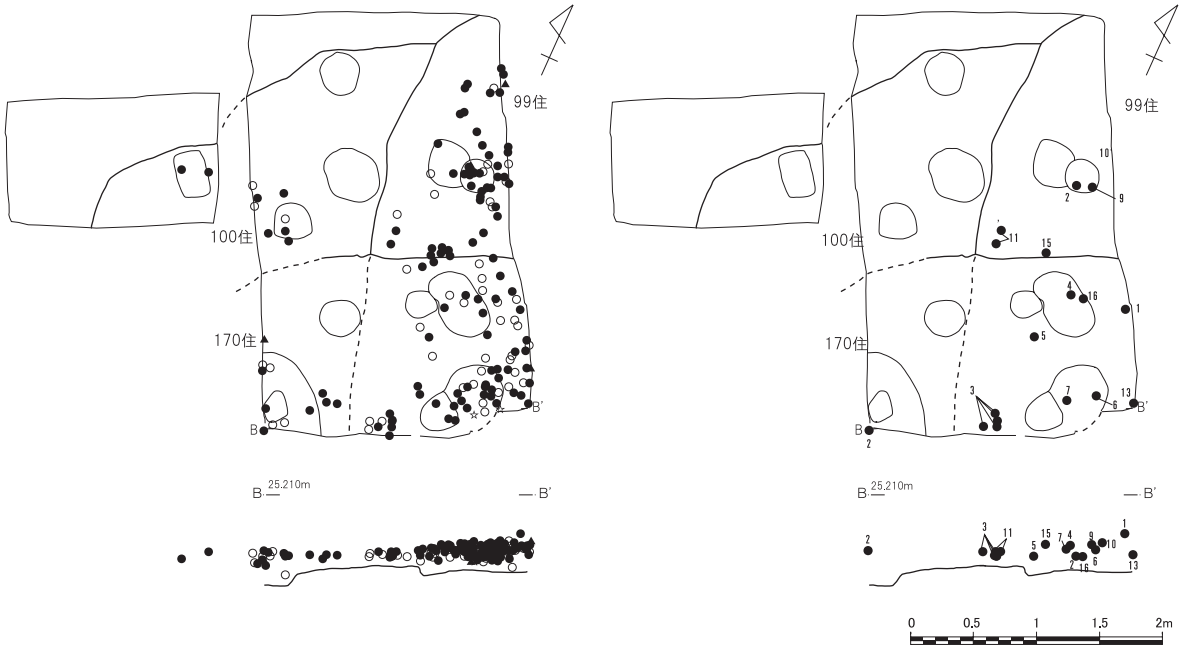
100号住居P8
1. 褐色土　締り有、ソフトロームが斑状に入る

100号住居P9
1. 暗褐色土　締り有、ローム粒(1～3mm)多量、炭(1mm)少量
2. 暗褐色土　締り有、ローム粒(2～5mm)極多量
3. 褐色土　締り有、硬い、ローム塊(1cm大)少量、ソフトローム塊少量

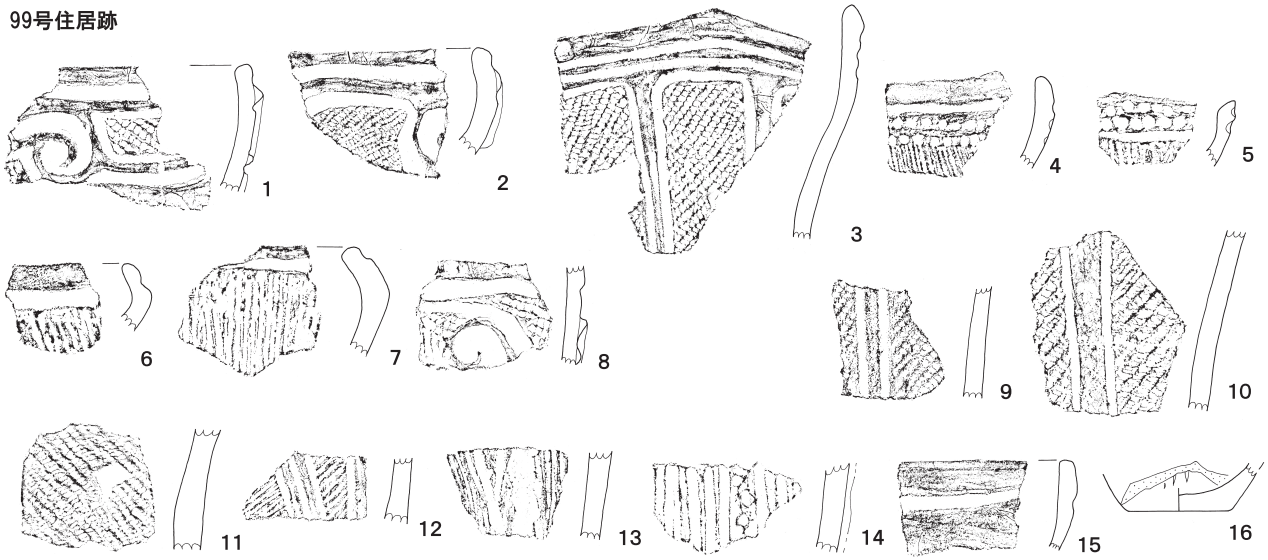
100号住居P10
1. 暗褐色土　締り有、ローム粒(1mm)少量
2. 褐色土　締り有、硬い、ローム塊(1cm大)少量、ソフトローム塊少量

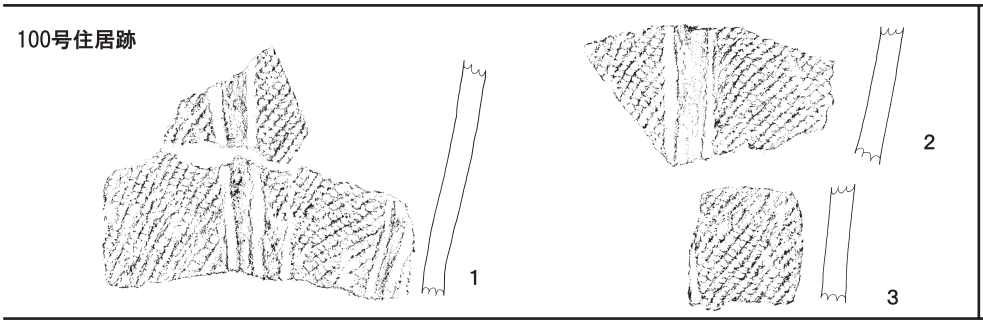
100号住居P11
1. 褐色土　締り有、ローム粒(1mm)少量
2. 褐色土　締り有、ローム粒(1～3mm)多量

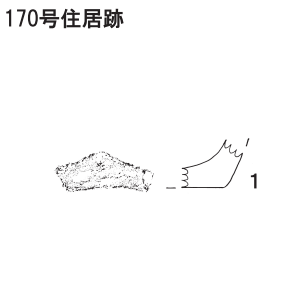
100号住居P12
1. 暗褐色土　締り有、ローム粒(1～3mm)やや多量
2. 暗褐色土　締り有、ローム粒(2～5mm)多量
3. 褐色土　締り有、ローム塊少量

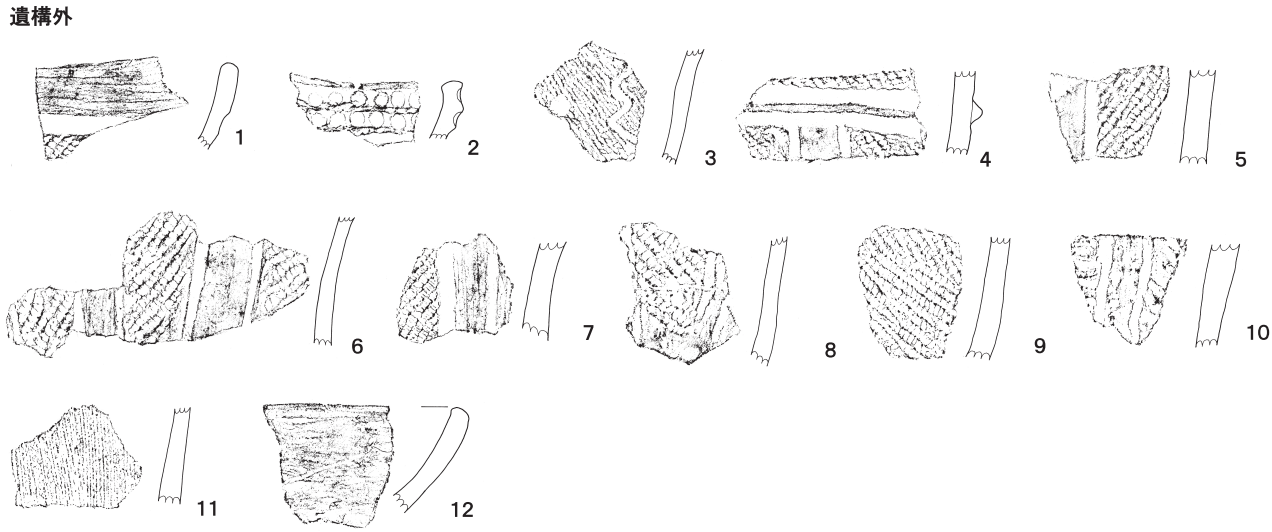


第87図　東台遺跡99号・100号・170号住居跡 (1/60)









第88図　東台遺跡99号・100号・170号住居跡・遺構外出土遺物（1／4）



本村遺跡第118地点落し穴



大井戸上遺跡第５地点試掘調査



東台遺跡第45地点試掘調査



東台遺跡第45地点遺跡見学会



東台遺跡第46地点試掘調査遺構確認作業



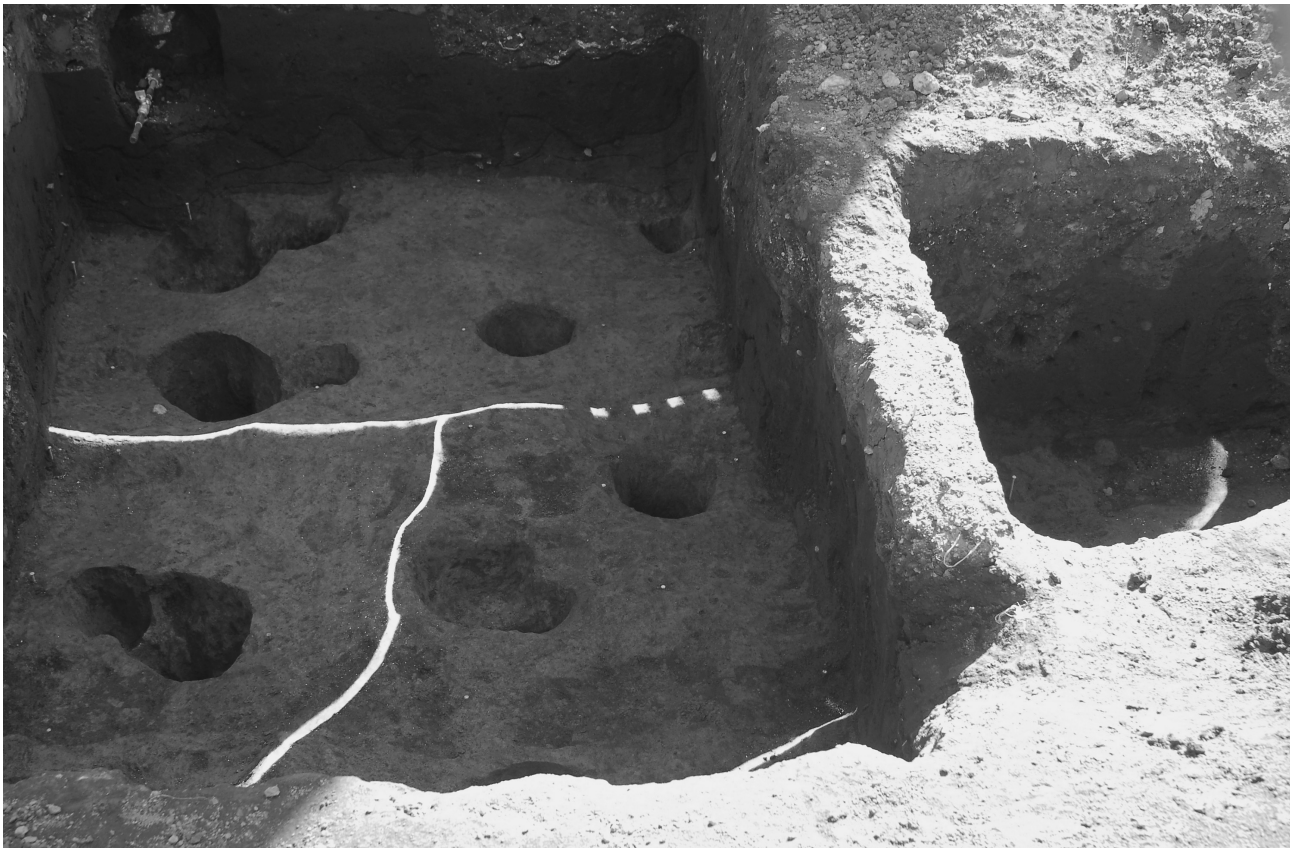
東台遺跡第47地点試掘調査



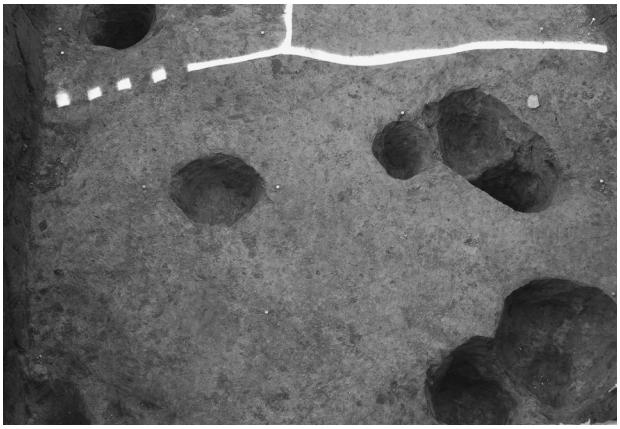
東台遺跡第48地点99号住居跡



東台遺跡第48地点100号住居跡



東台遺跡第48地点99、100、170号住居跡



東台遺跡第48地点170号住居跡



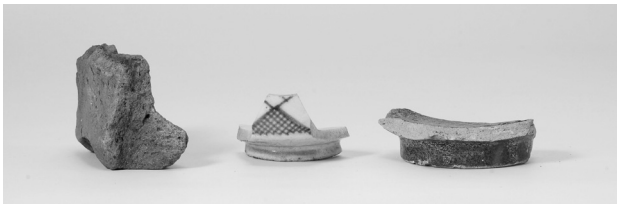
東台遺跡第48地点作業風景



遺物洗浄



注記作業





本村遺跡　第117地点出土遺物



大井宿遺跡　第13・14地点出土遺物



大井宿13　P50　分銅



大井宿13　P50　分銅



東台遺跡　第48地点　出土土器 NO.1～16



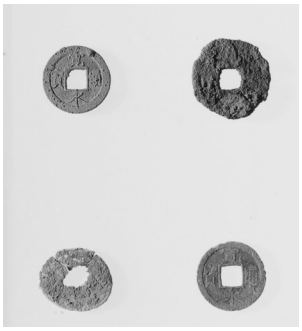
大井宿遺跡第13地点
出土遺物　土坑２No.１



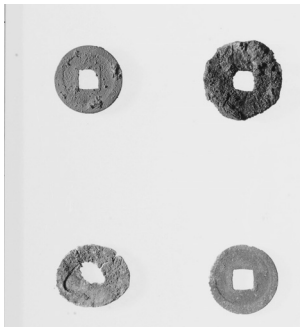
大井宿遺跡第13地点
出土遺物　P50No.11



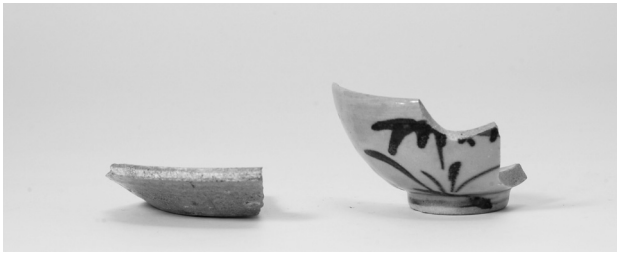
大井宿遺跡第13地点出土遺物　土坑２No.２



大井宿遺跡
第13地点銭貨



大井宿遺跡
第13地点銭貨　裏



大井宿遺跡　第14地点出土遺物



東台遺跡　第48地点　出土土器